

# ひまわり



第19回 福祉の絵手紙 理事長賞受賞作品 上野 美和 様

- 2 各施設でひな祭り
- 3 ISO維持審査結果について
- 4 連載vol.59 ● [記録に残したい記憶] ~貴重な体験を語り継ぐ~
- 5 令和4年度 職員リーダー研修会  
令和4年度 職員交換研修
- 6 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 ▶ 11 福寿園ニュース
- 12 連載
  - 外国人介護士 紹介インタビュー
  - 施設長・管理者のリレーコラム
  - 福寿園オリジナル四コマまんが「新人介護士 フクちゃん」

168号

令和5年3月10日

# 各施設で ひな祭り

桃の節句にちなみ、各施設でひな祭りの行事が行われました。

施設内いたるところにひな祭りの飾りが施され、7段飾りのお雛様に桃の花を飾り、ぼんぼりに灯りをつけると、柔らかい光がお雛様のやさしい顔を照らしてくれます。

昼食には、厨房職員が腕によりをかけて作った行事食『ひな御膳』を召し上がり、ちらし寿司に天ぷら、うしお汁、甘酒などをいただきました。

今日はきれいな着物に着替える方もいらして、その姿はまるでお雛様のお姿ですね。

華やかな雰囲気の中、皆さん笑顔で、楽しい一日を過ごされました。



# ISO維持審査の結果について



ISO 9001:2015 認証取得  
ISO 14001:2015 認証取得

令和4年12月19日から3日間かけて行われたISO維持審査のレポートが届きましたので詳細を報告いたします。

外部の目からみたSWOT分析では、強みとして①内部監査がしっかり行われ、内部監査要員も法令を熟知した職員で構成され、上席がきちんと指摘事項の精査をしていること②品質方針で明示された「家庭的な心のこもった食事作り」が、福祉QC活動の目標として取り上げられ、画一的でないメニューによって利用者の満足度をあげていること③地域との合同防災訓練、高校への非常勤講師派遣、学習支援事業等を通じて地域コミュニケーションがしっかりできていること④2年に一回利用者満足度アンケートが実施され、その評価も年々改善されていること等があげられました。

一方で弱みとして、ISOに関係することは、指摘に対して必ず改善報告書を作成していたのですが、その他介護保険関係でも重要な違反になる可能性のある指摘に対しては、きちんと改善報告書を出した方が良く、是正処置の仕組みに改善の余地があるとされました。

総合評価では、マネジメント、内部監査、継続的改善、運用管理、資源の各分野で最高レベルの評価をいただきました。

前回の機関紙でお知らせしたとおり、不適合はなかったものの、「改善の機会」として弱みで指摘を受けた改善報告書の適用範囲の拡大及び地球温暖化対策に関する法律で定められた年間原油換算1500kl以上を消費するエネルギー起源特定事業所排出者に該当するのかが調べることで、またフロン排出抑制法によって定められた機器を冷凍冷蔵庫を含めて全抽出をすること等の指導をいただきました。

毎回外部から客観的な評価をしていただくことで、「介護の常識は世間の非常識」の罠に陥らないように、今後ともマネジメントシステムに磨きをかけながら、ある程度の力量があれば仕組みを遵守することで、顧客満足度の高いサービスを提供できるように精進していきたいと思えます。

ISOと福祉QCは車のボディとエンジンの関係です。ボディは仕組みで、エンジンは職員一人ひとりの力量を高め、サービス改善の推進力です。今後とも、福寿園はお約束したサービスの品質をお届けすることに全力を注いでいきます。



## 連載 59

# 記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。

私は大正10年10月15日、宮崎県の綾町で産まれました。電気技師をしていた父が仕事で北朝鮮に行っており、後を追って母や妹たちと移り住みました。すぐに縁談が決まり、満鉄に勤めていた夫と19歳で結婚しました。3人の娘も授かり、平穏な日々でしたが、25歳の頃戦争がはじまりました。戦争が終わり日本に帰り着くまでは、壮絶な日々でした。

夫は仕事へ出かけ、近所の方と着のみ着のまままで社宅を後にし、ある時は貨物列車で逃げる途中、爆撃にあい逃げ遅れたのが幸いして命拾いしたり、ソ連兵に見つからないよう、女性はみんな頭を丸刈りにし、顔はすすけた汚い顔にし、ズボンなどもはき、身をひそめていたり色々とありました。子供を連れて山に逃げ隠れていたところ、夫と偶

然出会ってほっとした気持ちは、今も忘れられません。終戦後は夫の故郷のある長野へ一時身を寄せた後、宮崎へ引越し、そこで娘と息子を授かりました。夫の



米寿のお祝いにひ孫たちと



ふるさと古民家前で叔母と



大正琴のイベント(金沢にて)



奥村 タケ  
(デイサービスセンター砂川)

### プロフィール

生年月日…大正10年10月15日  
年 齢…101歳  
身 体…宮崎県 綾町  
性 格…明るく、さっぱりしている

定年後には、息子家族が住む安城で暮らすことになりました。清掃のパートをしながら、友人たちと旅行やスイミング教室に通ったりしていました。

70歳の頃、故郷に戻りたい一心で、皆の反対を押し切り、足の不自由な夫と二人で宮崎に帰りました。田舎では日当たりのいい古民家を借りて、畑で野菜や花を育てたり、グラウンドゴルフをしたり、自転車で買い物に行ったりと、自由気ままな十年間でした。

今は週2回、デイサービスに通っております。100歳の誕生日には盛大なお祝いをしてもらって嬉しかったです。優しいスタッフさんや仲良しの友人と、楽しい時間を過ごしております。

家では相撲や高校野球などのテレビとお酒が楽しみです。娘が作るおかずは薄味なので、醤油を回しかけ、晩酌です。それでも健康診断の数値は良好で、お医者には驚かれます。

今年には102歳になり、ひ孫からは「長寿日本一になってね」と応援されているので、健康でおしゃれ心も忘れずに過ごせたらと思います。そして、世の中が平和でありますようお願いしております。

令和4年度

# 職員リーダー研修会

1月31日に職員リーダー研修会を開催しました。今回は各施設を会場にオンラインで中継し、計133名の役職者の職員が参加しました。

冒頭、理事長より法人の将来展望について語られ、4月に東海市の複合福祉施設木田の里が開設することにより、法人が共生型社会に向けた新たなステージを迎えることが示されました。

本研修のメインテーマは、「ハラスメント防止対策」です。令和4年4月から中小企業も含めた全企業が対象となり、リーダーとして、ハラスメントやそれに伴うリスクを学び、職員が働きやすく、風通しのよい職場づくりを図ることを目的としました。

法人内では、職員のストレスチェックと併せてハラスメント調査も実施しており、その結果を受け、古田常務よりその結果の概要と働きやすい職場づくりについて講義がありました。

また、今回は外部



講師として（公財）介護労働安定センター委嘱雇用管理コンサルタントの藤野和良氏よりオンラインで「職場のハラスメント対策を考える」というテーマをご講義いただきました。藤野氏の講義を通じ、ハラスメントに対する基本的な知識や考え方だけでなく、傾聴等の部下の職員との関わり方を学び、チェックシートを使用した演習を通じて自分自身の傾向を知ることでもきました。

本研修会はコロナ禍も相まって3年ぶりの開催となりましたが、このような学びの機会を大切に、職員がキラキラと輝くことのできる職場づくりに努めていきたいと思えます。

令和4年度

## 職員交換研修

福寿園では、法人のスケールメリットを活かした研修の一環として、法人内の他施設へ職員を研修として数日間派遣する職員交換研修を実施しています。本研修もコロナ禍で3年ほど中止していましたが、コロナの感染状況を見ながら1月から2月にかけて実施しました。

対象者は概ね入社2～4年目の職員を中心に派遣しており、自施設しか経験したことがない職員が他施設で学ぶことにより、日頃の仕事のマンネリ化解消、初心に立ち返ることができるとの効果が期待されます。また、ベテランやリーダークラスの職員が他施設の先進事例や取り組みを学ぶために派遣する特別枠もあります。

参加者からは「研修前は不安だったが、あたたかく迎え入れてくれた」「新しい発見があった」「最新の見守りシステムが経験でき



た」「他施設を経験することで施設の良いところ、改善すべきところが分かった」等の研修報告がありました。お互いの良いところを取り入れ、施設間で切磋琢磨することにより、法人全体のサービスのレベルアップと職員のモチベーション向上につながることを期待されます。

## 武豊福寿園

### 出張回転ずし

1月25日に出張回転ずしを呼んで、3階家族会行事を行いました。コロナ禍以降久しぶりに家族



の方をお招きし行う予定でしたが、当日はあいにくの大雪となつてしまい、来園される際に事故があつてはいけないので、入居者のみで回転ずしを開催しました。普通のお寿司から

生魚、魚の苦手な方には火の通つたネタやイカ、エビなどを用意していただき、皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。

### 兎の雛人形作り

ケアハウスきぬうら

暦の上では春、入居者さんと一緒に雛人形作りを行いました。せっかくなので、今年の干支である兎で作ろうということで、卵型の兎の置物を用意し、皆さんに思い思いの布を選んでいただきながら作りました。「この組み合わせだと地味かな」「これだと派手過ぎ？」など、入居者さん同士、和気あいあいと話しながらたくさんある布の中からご自分の納得する組み合わせを探していました。お内裏様の布がなかなか貼りつかず悪戦苦闘しながらも、手作り雛人形が完成。ミニ畳の上に乗せたお内裏



様とお雛様を見て、「可愛くできたね」と皆さん満足そうでした。

### ひまわりの街

### コロナ退散祈願！節分祭

2月3日に毎年恒例の節分祭を開催しました。昼食には調理員による



美味しそうな恵方巻が並び、「豪華な巻寿司だね」と皆さん笑顔でべろりと完食。午後からの豆まきは、本物と見間違える程迫力のある鬼が各ユニットに登場しました。コロナの早期終息を願い、今年はコロナウイルスも登場。「それはしつかり追い出さんとな」と、入居者の皆さんの投げる豆は例年以上に力強く、まだまだ若く強いはずの鬼が、あつという間にへトへトになって退散。「鬼」と「コロナウイルス」をしっかりと退治してくださいました。コロナ禍に負けない入居者さんの笑顔あふれる一日となりました。

### 昭和の里 手作り神社

毎年、クリスマスシーズンが近づくと大量に消費される生クリーム。そのパツクをどうにか有効活用できないかと考えていたところ「みんなが通れるような大きな鳥居が見てみたい」という声。過去の機関紙やインターネット等を参考に、約1ヶ月をかけ製作に取り組みました。完成間近のところで、重力に耐え切れず倒壊するというアクシデントはあ



ったものの、修正を加え、無事大きく立派な鳥居が完成しました。昭和の里なりのSDGsに配慮した取り組みを行うことができました。

養護盲福寿園

アツアツお鍋のできあがり♪

まだまだ寒い日が続く今日この頃。入所者より「(調理員ではなく)支援員の作るご飯が食べてみたい!」というリクエストがあり、入所者の誕生会にて支援員お手製のお鍋を楽しみました。入所者の皆さんには、具材を切ったり盛付けを手伝ってもらいました。ぶりをしゃぶしゃぶにしたり、カニや牡蠣など皆さんの好物もあり、大満足していただけました。「夕食もお鍋が食べたい!」という声があがり、夕食時には雑炊



にして召し上がっていただきました。大変喜ばれ、心も身体も温まるお鍋になりました♪

みなみ福寿園デイサービス

第1回メイクアップ講座

いつまでも、綺麗でありたい!そんな女性の気持ちを叶えるべく、2月7日に

花王化粧品ビューティーアドバイザーをお招きし、ご利用者向けにメイクアップ講座を開催していただきました。今回は、基本となるスキンケアから、ベイスメイク・チーク・アイブロー・口紅の方法を教えてくださいま



した。初めは「もう、こんなお婆さんがお化粧しても、ねえ」と遠慮がちだったご利用者も、実際に化粧水をお肌に乗せてしまえば真剣な表情

に。「私にできるかしら?」「次は何を塗るの?」「口紅の色はどれにしようかしら」お顔に色が增える度に、皆さんの素敵な笑顔が広がっていきました。これからも素敵なメイクで心も体も若々しく、デイサービスに来てくださいね。

渥美デイサービス  
新年会

渥美デイサービスにて、新年会を行いました。職員による二人羽織を披露し、顔周りがクリームだらけになると、ご利用者の多くの笑い声がセンター内に響きわたりました。お正月にちなんだお絵か



きクイズでは、お題に沿って各自の絵心を活かし、皆さんに当ててもらいました。笑顔で満ち溢れる、楽しい新年会の時間を過ごすことができました。今年1年も楽しく笑顔で利用していただけるように、様々な企画をしていきたいと思います。

東海福寿園デイサービス

手作り輪っかで体操に挑戦

QC活動の一環で東海養護が取り組んでいたフレイル予防での運動グッズ。ホースをクルッと輪にして上手に



くっつけてあるだけに優れものなんです! 養護では各自室に輪っかを置き、気が向いた時にできるようにしたのですが、今回はデイサービスでその輪っかを活用し、体操を試みることにしました。そして、輪っか体操の先生には、何やらあやしい恰好に扮した職員がフロアに登場。あまりのおかしな姿に、ご利用者は最初皆ビツクリされていましたが、扮装した職員が誰だったかすぐにバレてしまい大笑い。笑いながらも職員動きを真似て、手足を動かしてくださいました。日頃、なかなか参加に消極的な方も一緒に取り組んでくださり、大いに盛り上がり

## 豊田福寿園

### みんなで「おめでとう」を

1月5日に105歳を迎えられた入居者さんへ、施設全員で誕生日をお祝いしました。豊田福寿園最高齢の田中様。田中様の口癖は「この人が良くしてくれるから、長生きできる。私は幸せ者だ」と

毎日言ってくれています。そんな田中様の誕生日に、担当の職員が何かしてあげたい！と立ち上がり、田中様の好きな食べ物、昼食のメニュー



隣さんへ花束を渡し、またそのお隣さんがお隣さんへと、花束はどんどん回っていき、最後は、田中様の元へと戻ってきました。その優しい気持ちと、優しい時間に笑顔があふれ、幸せな一日でした。

へ変更し、全員で美味しくいただきました。おやつの中には、昭和の

里のホールケーキとコーヒーをいただきますながら、昔の話などで盛り上がり、お花が好きな田中様へ花束のプレゼントを。その花束を「こんなにうれしいことは、おすそ分け」とお隣さんへ花束を渡し、またそのお隣さんがお隣さんへと、花束はどんどん回っていき、最後は、田中様の元へと戻ってきました。その優しい気持ちと、優しい時間に笑顔があふれ、幸せな一日でした。

## 田原福寿園

### 懐かしの味ふるさと

渥美半島の郷土料理のひとつ、「あさりの押し寿司」と「みうらやのうどん」をご存じですか？お祭りのときなどに、昔からよく振る舞われていた料理です。皆さんに懐かしの味を楽しんでいただくとうと、郷土料理パーティを開催しました。

うどんのお出汁の香り、あさりの甘辛い匂いがホールに広がり、料理が出る前から期待が高まります。出てきたのは湯気の立つ出来立て



のうどんと、あさりがたくさん乗った押し寿司。ぼろぼろとこぼれるあさを頼張りながら、うどんを冷ましつつすすりながら、「懐かしい。美味しい」の言葉と笑顔があふれました。

## ちた福寿園

### 雪見酒、旨い肴で男会

男性入居者さんより「お酒が飲みたい！」「そこに美味しい肴があればもったいいい！」そんなご要望を受けて、ふらりと立ち寄れる男会居酒屋を開催いたしました。

肴は一番人気の刺身の盛り合わせ、隣では焼き鳥を焼く香ばしい匂いが漂います。グラスに注がれるお酒の音までが雰囲気を引き立てます。



焼酎、日本酒それぞれ好みのお酒で「かんぱーい！」「できるもんなら何でも作るよ！」と職員が寿司を握りだすと「大将！」「女将！」といつのまにか職員の呼び方にも変化が…。

外はパラパラと雪が降りはじめ、雪見酒も楽しんで、お腹いっぱい、上機嫌。少し赤らんだ笑顔で「ありがとうね！また来るよ！」と皆さん居酒屋をあとにされました。

## パシフィックショートステイ

### ふるさと「いとし」再発見

立春を過ぎた冬晴れの日、ショートステイ利用の方々が、久々の外出で伊良湖岬へ出掛けました。

早春を告げる菜の花で染まる赤羽根の海岸沿いを眺め楽しみながら、車を走らせた。昼食は、新鮮な渥美半島の海の幸



を料理する灯台茶屋でいただきました。お皿からこぼれそうに盛り付けられた大アサリや自分の顔ぐらいの大きさがある焼き岩ガキに驚いたり、尾頭付きの立派な煮魚に思わず笑みがこぼれたりしながら、あまりのおいしさに皆さん箸が止まりませんでした。

帰路では蔵王山を巡り、田原市を一望してきました。住み慣れた土地の魅力を改めて満喫し、存分に堪能できた一日でした。



田原ゆの里

## ハッピーバレンタイン

バレンタインデーに向けてチョコプレート作りを行いました。まずは包み紙から出したチ

ョコをボウルに入れ、湯煎して溶かしました。多くの方が参加され、チョコプレートの良い香りもあって、楽しい気分になっていただけました。トロトロになっ



たチョコを型入れしようとする時は、身に着けて、鬼役のボランティアさんへ紙で作製した豆を投げました。鬼が鬼へ豆まきしている姿に、皆で大笑いした節分行事になりました。

皆さん真剣な表情に変わり、どきどきする様子が伝わってきました。難しいようにしながらも、何とか上手に型に当て込むことができました。

翌日、固まったチョコを型から外し、最後は職員と一緒にラッピングして完成しました。

迎えた2月14日は、作ったバレンタインチョコプレート

を気の合う方同士で渡し合い、少し照れながらも嬉しい気持ちで終わる催しとなりました。

## musubun共同節分企画

2月6日、福祉体験のマッチング

サイトmusubun(むすぶん)さんと共同企画をした節分行事を行いました。当日は、ボランティアさん4名を迎えて、鬼のお面作りと豆まきを行いました。4種類ある中から好きな鬼の顔を選択し、色を塗りました。個性的な顔から可愛い顔まで、色々なお面ができました。手作りしたお面を



身に着けて、鬼役のボランティアさんへ紙で作製した豆を投げました。鬼が鬼へ豆まきしている姿に、皆で大笑いした節分行事になりました。

ひまわり邸

## モーニング

特養に入居されている皆さんに向けて、『カフェ向日葵』にてモーニ



ングを開催しました。カフェに向かって何十年ぶりだろ  
「モーニングなんて何十年ぶりだろ  
う?」「朝からお出かけなんて特別  
感があるね」と会話が弾んでいまし  
た。入店後は店員が注文に伺い、  
好きなパンと飲み物を選んで  
いただきました。メニューは焼  
き立てのパンに玉子サラダとヨ  
ーグルト。中でも小倉パタート  
ーストが人気で、「愛知と言え  
ばこれ!」と盛り上がりました。  
食事を終えた後は、雑誌を読  
んだり談笑したりと、普段とは  
違った雰囲気です。ゆったりとし  
た時間を過ごされました。

花の里

## トランスファー研修

コロナ禍で延期になっていた、トランスファースーパーバイザーの講習が2月10日より

始まりました。事前に全職員のDVD学習を進め、第一回目は花の里のリーダー職員を中心に研修へ参加し、まずは自分自身が介助される側としてトランスフ



アーを体験しました。細やかなコツなどを聞きつつ、次は介護者側として、移乗介助、立ち上がり介助、歩行介助を実践。繰り返し行うことで、参加した職員一人ひとりの表情も、研修が終わる頃には自信がついている様子でした。

得たことが習慣となるよう、若い職員達にも日々少人数での技術指導を進めています。毎日の介護の中でご利用者はもちろん、職員にとっても負担とならない、そんな技術が生かしていけたらと思っています。

## 大相撲星取り予想 年間MVP決定



毎年恒例の法人内施設全体による『大相撲星取り予想年間上位者』が発表されました。今年度は養護盲福寿園の福井健二さんがみごと優勝に輝きました。理事長よりお祝いの言葉と賞状、記念品としてカーディガンとお菓子のセットが贈られました。

順位	名前	施設名	総得点
一	福井健二	養護盲港人ホーム福寿園	三〇、〇〇〇
二	萩原源文	ケアハウスきぬうら	三〇、〇〇〇
三	掛橋勝治	養護盲港人ホーム福寿園	三〇、〇〇〇
四	木田洋	養護盲港人ホーム福寿園	三〇、〇〇〇
五	小島洋二	ケアハウスバシフィック	三〇、〇〇〇
六	宮田一朗	養護盲港人ホーム福寿園	三〇、〇〇〇
七	小林新藏	養護盲港人ホーム福寿園	三〇、〇〇〇
八	江端昭夫	ケアハウス武豊	三〇、〇〇〇
八	森田美代子	ケアハウスきぬうら	三〇、〇〇〇
十	都築 斎	養護盲港人ホーム福寿園	三〇、〇〇〇

令和4年度(令和4年春場所)・令和5年初場所) 大相撲星取り予想 法人年間総得点ベスト10

## 調理マスターフォローアップ研修

1月18日に田原福祉グローバル専門学校において、福寿園調理マスター初段試験のフォローアップ研修を行い、7名が参加しました。

初段試験の実技でクリアできなかった点について、細やかな指導を受けました。一つひとつの工程の意味を説いてもらうことで、自分ではさほど重要だと思っていた下処理や灰汁取りの大切さを改めて認識したようです。実習の最後に振りかえりの時間を設けましたが、「腑に落ちた」と笑顔で話してくれる人もいました。

また行事の煮物の面取りや食べやすく見た目も美しいフルーツのカット方法について、スーパーバイザーの見事な包丁さばきを見た後で、早速練習に励む等、非常に熱のこもった研修になりました。

習ったことをそのままにせず、すぐに現場で実践することがスキルアップには欠かせません。習ったことを施設で共有し、協力しあうことの大切さも理解してくれたことは大きな収穫でした。来年は7人の笑顔が見られると信じています。



## 目指せ 介護福祉士国家試験 全員合格!

第35回介護福祉士国家試験が1月29日に実施されました。今年はEPA介護福祉士候補生8名に加え、技能実習、特定技能の在留資格を持つ合計19名の外国人職員が受験しました。

1年かけて受験対策講座を行い、さらに国家試験直前の12日間、早朝から夜までひたすら勉強を行うため、

田原福寿園で合宿をしました。休憩時間も惜しんで一問でも多く問題を解いたり、活発に質問が出たりと、参加者全員が集中して取り組みました。

閉講式では、これまで支えてくれた各施設への感謝や、一緒に頑張ってきた仲間と健闘を誓い合う言葉が聞かれました。感染症対策と体調管理で緊張した毎日

でしたが、試験当日は全員が無事受験することができました。

在留資格は異なりますが、同じ夢に向かって努力を続けた全員の笑顔を、3月24日の合格発表で見られることを祈っています。



## 食のマイスター選考(二段)

2月8日、福寿園調理マイスター二段試験が田原福祉グローバル専門学校で行われました。令和4年8月に行われた初段試験に引き続き、今回は二段ということもあり、受験者もキャリアのある職員が中心です。福寿園流の伝統の献立が調理課題として出題され、施設でよく提供されるいつもの献立ですが、基本に立ちかえり、皆真剣な面持ちで調理を行いました。また、筆記試験も行われ、福寿園流調理の理解も評価されます。

マイスター試験を通じて、調理技術の見える化、調理員のモチベーションの向上に期待します。



## 東三河日本語スピーチコンテスト 出場



1月29日蒲郡にて、豊橋・蒲郡・新城・豊川・田原の各市の予選会から選ばれし出場者たちが集まり、東三河日本語スピーチコンテストが行われました。田原市を代表して田原福寿園のアップルさんが、仕事を通じて感じた介護のすばらしさについて、日本語でスピーチをしました。

介護の仕事は大変だけれど、利用者さんから頼りにされ、「あなたが来てくれてうれしい」と言ってくれた言葉が励みになっていることを話してくれました。観客の涙を誘うとても感動的なスピーチで、日本に来たばかりのころと比べて日本語の上達にも驚かされました。

Happy  
Wedding

ハッピーウェディング

シェルウィンさんよりコメント

「ウェディング  
は冒険の始まり  
です!!」



ドゥラン シェルウィン ドミニ セナンゴテさん（ひまわりの街・介護職員）とバロンキット クリスティーン メイ ボゴさん（豊田福寿園・介護職員）が結婚されました。職員手作りの結婚式で、お二人を祝福しました。おめでとうございます♡

## 衣類を寄付していただきました

田原福寿園

田原市内の衣料品店さんより、たくさんの衣類をご寄贈いただきました。素敵な上着やスカート、エプロン、寝間着に帽子まで。施設内に展示し、養護盲・田原福寿園・田原ゆの里・ケアハウスパシフィックのご利用者の皆さんに、直接欲しいものを選んでいただきました。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



## 福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.4

# 「新人介護士」 つりちゃん



## 連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在102名(フィリピン人 69名、ベトナム人 31名、インドネシア人 2名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?  
A 日本の文化と歴史に興味があったからです。
- Q 日本についてどんな印象がありますか?  
A 綺麗です。日本ほどトイレが綺麗な国はないと思います。
- Q 日本に来て嬉しかったことや、楽しかったことは何ですか?  
A 雪が見れたことと、みんなが優しく、毎日仕事を楽しんでいます。
- Q 休日は何をして過ごしますか?  
A 奥さんと買い物へ出掛けたり、家でゲームをしています。
- Q 日本の有名人で好きな人は誰ですか?  
A 今まで生きてきた中で、最もクールな日本人は宮本武蔵だと思います。次は、ビートたけしです。
- Q 自分を動物に例えるとなんですか?理由は?  
A フクロウです。フクロウは常に冷静で静かで観察力があります。そして、フクロウの様に私は一晩中起きてられます。
- Q 将来の夢はなんですか?  
A 日本に来ることが夢だったので夢が叶った。次の夢は施設長になることです。
- Q 最後に一言  
A 豊田福寿園ですと働きたいです!!!!



マクウ・ナリジャン・ジョメン  
ニックネーム  
ジャン  
豊田福寿園  
国籍:フィリピン

## 連載 施設長・管理者の リレーコラム

特別養護老人ホーム  
武豊福寿園

施設長 浅野 晃

長男の就職先が浜松市に決まり、内見と祝いも兼ねてプチ贅沢旅行に行ってきました。コロナ禍の3年間は外出も控えており、圧倒的な運動不足に陥ってしまいましたので、なるべく歩くことを意識しての旅でしたが、結果、食べるのが止まらない旅となりました。

近場ではありましたが、久しぶりの旅行でのんびり過ごすことができました。今年は運動の機会を設け、溜まった脂肪分を少しでも削っていければと思っています。

次号は、田原福寿園(南館)有川施設長へバトンを渡します。



令和5年3月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園  
■理事長/山田浩三

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008  
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



vol.168 12